

# 西尾市事務評価シート

事務No.	52-018	事務内容	幼少年婦人防火クラブに関すること（少年消防クラブ員一日体験入署）				
総合計画施策コード	58-	事務開始年度	不明		担当課名	予防課（消防本部）	
予算科目	09款	01項	02目	大事業	03	中事業	00
事務事業名 (中事業名)	民間防火組織活動事業 ( )						

## 事務の概要

### ●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	少年消防クラブ員相互の親睦を深めるとともに、消防についての関心を持たせる。
事務の対象 (誰(何)のために)	市内小学生
事務の概要 (具体的に何を)	庁舎見学、規律訓練、放水体験、ロープ結索訓練、応急手当などの各種体験行事。

### ●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費①	69,116円	82,000円	77,000円	
人工	0.2人	0.2人	0.2人	
人件費②	1,414,597円	1,420,922円	1,437,982円	
総事務費③(①+②)	1,483,713円	1,502,922円	1,514,982円	
総財源内訳③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	1,483,713円	1,502,922円	1,514,982円
	その他( )	0円	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	19,209円	H29 総事務費③の対前年度比率	1.29%	
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要	金額	
	消耗品費	帽子@360円×100個	36,000円	
	報償費	文具セット@182円×60個	10,920円	
	食糧費	お茶等飲料8038円+塩タブ1344円	9,382円	

### ●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	市内小学校へクラブ員参加募集校(29年度以降対象校を分割調整、隔年交互)					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	市内小学校からのクラブ員参加校、消防についての学習					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりの コスト(③÷④)	平成28年度	57,066円	平成29年度	115,609円	平成30年度	116,537円	

●事業の終期

事務No. 52-018

事務の終了時期	平成30年度	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期
事務の終了時期が未定の場合の理由		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	評価		内容	評価	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	4	効率性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	3	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	2		事務時間は適切なものになっているか	2	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	2		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	2	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	3	公平性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	4	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	2		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	4	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	2		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	4	
評価の総合的なコメント	市（消防本部）が事業の実施主体であることは妥当であるが、近年の消防を取り巻く環境から鑑みて、事業継続が妥当であるとは考えにくい。					
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	「少年消防クラブ員の県消防学校一日入校」を愛知県少年消防クラブ運営指導協議会が実施しており、こちらに毎年参加しているため、同類事業を消防本部で開催する合理性に欠ける。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	民間委託等は不適。					
事務全体の課題	近年、救急を始めとする各種災害事案が年々増加しており、事業開催中に突発的な事案対応を迫られるケースもあり、運営そのものが不安定な状態となることも想定される。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	近隣市町での同類事務は実施されていない。
---------------	----------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	無し。
-----------------	-----

●改善案【ACTION】

今後の改善策	無し。
--------	-----

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	同類事務との関係を踏まえ事務の縮小又は統合を検討するなど、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	--

西尾市事務評価シート

事務No.	52-019	事務内容	幼少年婦人防火クラブに関すること（婦人消防クラブ 視察研修）				
総合計画施策コード	58-	事務開始年度	不明		担当課名	予防課（消防本部）	
予算科目	09款 01項 02目	大事業	03	中事業			
事務事業名 (中事業名)	民間防火組織活動事業 ( )						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	クラブ員の資質向上。
事務の対象 (誰(何)のために)	婦人消防クラブ員の資質向上を図り、地域防災力強化に繋げる。
事務の概要 (具体的に何を)	県内の各種施設見学等。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費 ①	126,152円	111,000円	204,000円	
人 工	0.2人	0.2人	0.2人	
人 件 費 ②	1,414,597円	1,420,922円	1,437,982円	
総事務費③(①+②)	1,540,749円	1,531,922円	1,641,982円	
総財源内費 の ③	使用料・手数料	0円	0円	
	国からの支出金	0円	0円	
	県からの支出金	0円	0円	
	市費	1,540,749円	1,531,922円	1,641,982円
	その他( )	0円	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	-8,827円	H29 総事務費③の対前年度比率	-0.57%	
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概 要	金 額	
	報償費	記念品タオル@280円×75本×1.08	22,680円	

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	クラブ員への教養研修。(県内各種施設の訪問見学)					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		1 回		1 回		1 回	
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	クラブ員の参加(クラブ員の新規加入は3年間でゼロ)					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		35 人		30 人		30 人	
活動一単位当たりの コスト(③÷④)	平成28年度	平成29年度		平成30年度			
	1,540,749円	1,531,922円		1,641,982円			

●事業の終期

事務No. 52-019

事務の終了時期	平成30年度	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期
事務の終了時期が未定の場合の理由		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目	評価	評価項目	評価			
	妥当性	市が実施することが適当であるか		4	効性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	2
評価	妥当性	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	2	公平性	事務時間は適切なものになっているか	1	
	妥当性	課題, 目標, 成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	2		公平性	事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	1
	有効性	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	1		公平性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	4
評価	有効性	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	1	公平性	受益者負担を求めているか、また、求めている状況は適切か	4	
	有効性	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	1		公平性	サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	4
	評価の総合的なコメント		婦人防火クラブ発足当初の昭和50年代初頭と現在では、社会構造や生活環境、個人のライフスタイルなどが大きく様変わりしており、事業活動への期待が薄いと考えられる。				
事務の方向性	(評価)	今後は事務を廃止する。					
	(理由)	近年クラブ員の流動性（クラブ員の入れ替わり）は無く、また個人が自由に情報を容易に取捨選択できる時代であり、行政が果たす役割の意義が低下していると考えられる。					
民間委託又は市民協働拡大の方向性	不適。						
事務全体の課題	クラブ員の流動性も無く、同一メンバーに対して資質向上に資する消防・防災に係る研修施設を探すこと自体困難がである。						

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	既に廃止した近隣市もある。
---------------	---------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	無し。
-----------------	-----

●改善案【ACTION】

今後の改善策	視察研修事業は廃止とし、今後はリーダー研修や住宅防火啓発などの活動内容・ボリュームなどのバランスを再検討しながらクラブ員としての活動を継続する。
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	上記改善案について、実施に向けて検討するとともに、将来的な事務廃止も検討してください。
----------	---

西尾市事務評価シート

事務No.	52-020	事務内容	幼少年婦人防火クラブに関すること（婦人消防クラブ リーダー研修会）				
総合計画施策コード	58-	事務開始年度	不明		担当課名	予防課（消防本部）	
予算科目	09款	01項	02目	大事業	03	中事業	00
事務事業名 (中事業名)	民間防火組織活動事業 ( )						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	婦人消防クラブ員の資質向上。
事務の対象 (誰(何)のために)	クラブ員の資質向上を図り、地域防災力強化に繋げる。
事務の概要 (具体的に何を)	救急法の受講を始め、他課主催するイベントに参加する等。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
事務費 ①	151,590円	129,000円	82,000円
人 工	0.1人	0.1人	0.1人
人 件 費 ②	707,298円	710,461円	718,991円
総事務費③(①+②)	858,888円	839,461円	800,991円
総財源内費 の ③	使用料・手数料	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円
	市費	858,888円	839,461円
	その他( )	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	-19,427円	H29 総事務費③の対前年度比率	-2.26%
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)			
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概 要	金 額
	報償費	記念品タオル@280円×75本×1.08	22,680円
	食糧費	弁当@800円×23食	18,400円

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	クラブ員への教養研修。					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		30 人		23 人		30 人	
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	クラブ員への教養研修(クラブ員の新規加入は3年間でゼロ)					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		30 人		23 人		30 人	
活動一単位当たりの コスト(③÷④)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		28,630円		36,498円		26,700円	

●事業の終期

事務No. 52-020

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	平成31年度
事務の終了時期が未定の場合の理由	一部の事業を残し継続するため。		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	評価		内容	評価	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	4	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	2	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	2		事務時間は適切なものになっているか	2	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	2		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	2	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	1	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	4	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	1		受益者負担を求めているか、また、求めている状況は適切か	4	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	1		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	4	
評価の総合的なコメント	近年クラブ員の新規加入は無く、同一メンバーに行う研修の効果が頭打ちとなっている。					
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	クラブ員の流動性（クラブ員の入れ替わり）は無く、従前と同程度の研修を行うことに合理性が感じられないため。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	無し。					
事務全体の課題	近隣市においても救急法の受講は行われているため、救急法の受講は研修として継続させるものの、クラブ員の練度はかなり上がっているため、今後は知識や手技レベルが低下しない程度の頻度・内容にバランスを再検討する。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	救急法の受講は概ね行われている。
---------------	------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	無し。
-----------------	-----

●改善案【ACTION】

今後の改善策	今後はイベント参加等を研修として行うことはせず、救急法を隔年程度で受講させ定期的なブラッシュアップを行う。新規加入者があった場合は、その都度柔軟に対応する。また、有益な講習・講演会等があれば参加してもらい、クラブ員の資質向上を図る。
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	上記改善案について、実施に向けて検討してください。
----------	---------------------------